



せせらぎ通信

生物多様性保全への取組みについて

横浜ゴム株式会社 平塚製造所
安全衛生課 安藤克彦

私たちの会社はタイヤをはじめとしてコンベアベルト、各種ホース、航空機の燃料タンク、船舶の緩衝用に使用する防舷材など、各種ゴム製品を生産しています。

これらの製品を生産するにあたっては、天然ゴムや鉱物資源、水資源など自然が生み出す恵みに依存しています。

「このまま自然からの恩恵を受けるばかりでよいのだろうか」、「私たちにできることは何だろうか」という思いから、「地域住民と共に、豊かな生態系を守る」ことをテーマに掲げ、2010年に社内外に向けてその取り組みの方針や行動の指針を取り決めた「生物多様性ガイドライン」を公表しました。

中でも各生産拠点では、その地域の河川流域から大量の水の恩恵を受けていることから、水資源に着目した取り組みを全社で展開しています。

私たちの平塚製造所では他の拠点より少し遅れましたが、2013年から活動を開始しました。取組みの対象は、金目川水系エリアの生物多様性調査と保全活動です。

初年度はまず調査活動をする場所を決めることから始めました。

その結果、金目川の平塚大橋北側エリアと鈴川の大畑橋と宮下橋の間のエリアを調査ポイントに決めて、春、夏、秋の三回に分けて具体的な調査を実施しました。

調査の内容は、そのエリアに飛来す



水質調査の様子



水生生物調査の様子



鳥類調査の様子

る野鳥を観察する

「鳥類調査」と

河原に繁茂する植物の種類を調べる

「植生調査」

川の水の電気伝導度や透視度を測定して水の状態を調べる

「水質調査」

水中にどのような生物が生息しているかを調べる

「水生生物調査」です。

その結果、金目川流域の水は透明度が高いことや、鳥類や水生生物は多様性のある健全な状態であることが確認できました。しかし、植生についてはオオブタクサやアレチウリなどの外来種が蔓延り、本来その地に繁茂すべき在来種が減っていることがわかりました。

このことから、今後の保全活動の一つとして、外来種植物を除草根抜して、河川への影響や生物多様性の変化を調べることにしました。

また、金目川水系エリアの自然環境を守るために、地域の方々と協働して花水川土手の清掃なども継続的に実施していきます。

その他にも難易度は高いですが、湧水ポイント周辺の保全など、金目川の水源涵養に少しでも寄与できるように取り組みをしていきたいと考えています。

平塚の地でこの取り組みを開始するにあたり、金目川水系流域ネットワークの方々の多大なるご支援とご協力に感謝すると共に、今後も協働で活動したいと思います。

今も昔も変わらぬ 金目川への愛着

柳川 三郎
絵 岩本 勲

金目川の中流地金目は1180年（治承4年）に源頼朝が平家打倒の旗揚げ初陣に参陣した真田与一のゆかりの地です。

1192年（建久3年）武士として最初の幕府を開いた源頼朝の妻政子が安産祈願のために何度も金目観音堂に詣でています。

金目観音堂には足利尊氏、足利直義も詣でています。

江戸幕府を開いた、徳川家康は中原に御殿を建てれば鷹狩に来ていました。

1608年（慶長13年）12月に金目川洪水の惨状を目の当たりにして1609年（慶長14年）に御所様堤（大堤）を築かれました。

先人は自然災害への負けない根性を持っていました。共同しての苦闘の記録は1910年（明治43年）には、前線と二つの台風のために、8月1日から14日にかけて大雨が続ぎ、金目川の洪水で大水害に見舞われ、闘いの記念碑を今に残しています。



河身改修記念碑

一九二一年（大正十年）

記念碑の【読み下し】

金目川は中郡金目村に至りて曲折し、奔ること激し。洪水の患は年々絶たず。

明治43年、44年秋、水氾濫して堤塘を破壊し、田園数百町歩はいったん変じて砂原となる。

惨害はことにはなはだし。

村中の有志、決然、河身改修と耕地の整理をなすこと急務と、つぶさに状を県庁に上申す。その許可を得るや村民を糾合し、朝早くから夜遅くまで力を展じ、関係町村もまたこれを扶助すること数年、初めて竣工す。

費やす額、6万5千円。その間、知事は三度変わる。

当届の董督又ここに宣を得る。すでに水利は南北、東西に整然と通じ、耕地を改め二毛田三百二十町歩を得る。その利沢は深潤にてもとより算するにいとまあらず。そのことを略叙して不朽に伝えんと云う。

注 関係町村とは平塚町、旭村、金田村、岡崎村、豊田村、大野村、土沢村、城島村、大根村、秦野町、南秦野村、大磯町



5つの金目川からの恵み

(柿田川 水5訓をふまえて)

●自ら活動して他を動かすは水なり。

朝の金目川の水は考えている以上にきれいで、冷たくて新鮮な川の水です。私たちや、あらゆる生物にとって水はなくてはならないものです。

金目川ではカワセミやハクセキレイが飛び交っています。

又、農家の人たちも旬の季節には根三つ葉を洗っています。

金目観音様へ金目川左岸を300m歩いて、参詣している人がたくさんいます。

●障害に合せて激しく、

その勢力を信加するは水なり。

金目川に様々な水が途中でそそがれてきて、川の流れは100mできれいになります。

金目川は、雨で流れが岸部にあたり、砂利を大きく動かし河原を攪拌して汚れを包み込み、新しい流路を作っていきます。

●常に口の進路を求めて

やまざるは水なり。

そこかしの、水辺にヨシが生えている少しの隙間にも水が流れ込み、たくさんの生き物が生息しています。

金目川沿いの湧水には一定の水温を維持した水の流れが、クレンソンの群生、オイカワの群れを呼んでいます。

●自らきよくして他の汚濁を洗い流して

清濁併せ容るは水なり。

金目川の流れはサラサラとして朝日を浴び輝いています。汚れた水も区別なく流れて、流れは大小の石にぶつかりきれいになります。

●洋々として大海を充し発して雲となり、

雨と変じ凍りては氷雪と化して

そのせいを失わざるは水なり。

金目川の水の循環は、まず、相模湾にそそぎます。海の川水は蒸発して雲になって、雨が大地に降り注ぎ、気温が低くなると雪となって大地に降ってきます。

循環して、地上と地下に水となってめぐります。地下から湧く水はきれいで水温は常に変化がありません。



↑金目地区の金目川を中心とした立体模型
延べ117人が力を合わせて7ヶ月かけて制作の結晶です。

金目川大堤付近の地形

金目川によってつくられた扇状地の低い部分は水田として米どころとなっています。

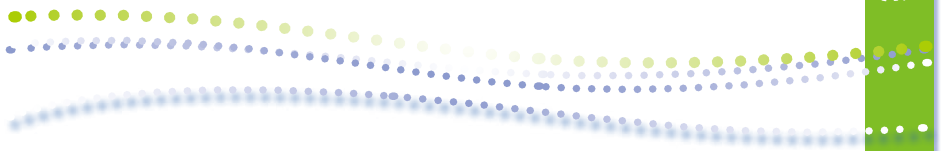
右岸の南金目神社の社が急にせりあがって高くなっています。自然度が高く、野鳥がたくさん生息しています。

- カワセミ
- ハクセキレイ
- キセキレイ
- セグロセキレイ
- イソシギ

大きなS字カーブ川には

- アユ
- ウナギ
- ボウスハゼ
- ヨシノボリ
- ヌマチチブ
- モクスガニ
- ヒラテテナガエビ
- ヤマトヌマエビ

がたくさんいます。川辺は家族や若い男女の格好のレジャー地で楽しんでいきます。



金目川下流（花水川）のエコツーリズム 募集します！

6月14日(土) 10時

旧国道1号線のバス停・古花水に集合（雨天は延期）

車は、バス停・古花水すぐそばの不動産屋・丸福産業の駐車場に声をかけ入れて下さい。

入りきらない時は、ダイクマ通りの紳士服・コナカの店の駐車場に声をかけ入れて下さい。

府川きよし 0463-34-7475

コース

- ① 相模貨物駅と小桜川の水門。
- ② 「花水川」を渡る「花水橋」。 ゴミ掃除をした現場。 橋の上からの景色。
- ③ 浄土真宗 ●善福寺をみる。 親鸞上人が…。 横穴古墳を見る。
- ④ 高来神社（高麗神社）の見学。 大磯八景の一つ●梵鐘。
- ⑤ 大磯八景の一つ ●化粧坂。 虎御前の井戸。
- ⑥ 唐ヶ原。大磯八景の一つ ●唐ヶ原の落雁。
- ⑦ 下花水橋（木橋）。 関東ふれあいの道。
- ⑧ 撫子原。 撫子公園。 平塚の花 ●撫子の由来。
- ⑨ 観光五十選 ●花水河口の碑。 現在複線化の工事中。 箱根駅伝の中継所。
- ⑩ 旧●春日神社の黒部宮。 旧●小川別荘。
- ⑪ 豹留の碑。 弘法大師。 小桜川（源流は阿弥陀寺の池●現 四十瀬川公園）



「湘南里川づくり」取組のご紹介 ～平塚市緑化まつりに出展しました！～



湘南里川づくりに一緒に取り組む
「湘南里川見守り隊」を募集しています。
詳細は、ホームページで！

里川づくり

検索

●日 時 平成二十六年四月二十七日(日)

●実施内容 金目川水系の生き物とのふれあい体験
(ザリガニ釣り)、資料配布による
啓発活動など

「湘南里川(さとかわ)づくり」とは、湘南地域のふるさとの川である金目川水系の河川等を、次世代を担う子どもたちに引き継いでいくため、市民主体による清掃、植栽、生き物観察会などの河川等の保全・活用を、流域全体に広げていく取組みです。

生き物と触れ合うことで子供に里川への関心を持ってもらい、また、会の活動の啓発を行うため、「第四十一回平塚市緑化まつり」に出展いたしました。

当日は、チラシ等の配布による「湘南里川づくり」のPRやアンケートのほか、子ども向けに川とみずクイズや、金目川水系の生き物とのふれあい体験としてザリガニ釣りを実施し、多くの家族連れでにぎわいました。

●お問い合わせ先

湘南里川づくりみんなの会事務局

神奈川県湘南地域県政総合センター 企画調整課

電話 (0463) 22-2711 (内線2111~3)

ホームページアドレス <http://www.satokawa.com/>